

館報



12月号

やまがた

No. 776

令和2年
(2020年)

父親が創業したエクステリアの設置などを行う会社に約20年前に転職した小森さん。前職は工場の生産品質管理を担っていましたが、その経験は今でも活かしているそうです。「カーポートなど完成したものを施主さんが喜んでくれるのが一番の励みになります」と穏やかな笑顔で話してくれましたが、作業に戻った瞬間、職人の表情に変化したのがとても印象的でした。

(12月2日 施工現場にて)



※表紙の写真は撮影のためマスクを外してもらっています。

働姿
シリーズ

仕事人

小森 勇二さん(下竹田)

館報やまがたのバックナンバーは村のホームページ（こちらの二次元コードから）でも見ることができます→



令和2年度長野県スポーツ推進委員協議会 功労者表彰受賞 中野 剛さん(下竹田)

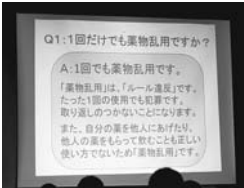
昨年度まで山形村スポーツ推進委員として活躍された中野剛さんが多年にわたる地域スポーツへの功績をたたえられ、長野県スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受賞されました。表彰式はコロナ禍で中止となってしまいましたが、12月9日(水)にトレーニングセンターで伝達式が行われました。中野さん本当におめでとうございます。



美校長は「総合的な時間などに活用して、SDGsを学ぶきっかけになれば」と話していました。

山形小学校に かるたが寄贈されました

12月4日(金)、JA松本ハイランド女性部が作成した「SDGsかるた」が部会を代表して平沢由美子さん(中大池)より山形小学校へ贈呈されました。このかるたは全国のJA女性組織に集う「フレッシュユミズ」(子育て世代の女性グループ)が、持続可能な開発目標「SDGs」を楽しみながら学べるように作成したものです。受け取った柳生さよ美校長は「総合的な時間などに活用して、SDGsを学ぶきっかけになれば」と話していました。



場合、人に与える影響を深く理解することができま

12月1日(火)、鉢盛中学校3年生が薬物乱用防止について学びました。薬物依存の恐ろしさ、たばこやお酒を未成年で摂取した場合に人体へ与える影響について理解を深めることができました。

鉢盛中学校薬物乱用防止教室

エス・ディー・ジーズ

SDGsって何?



2015年に国連で採択された17ゴール・169のターゲットからなる2030年までに「持続可能でよりよい世界」を目指す開発目標であり、世界共通のモノサシとして、「誰一人取り残さない持続可能な社会づくりの達成」を目指すものです。

キッチン和っこ

12月5日(土)、トレーニングセンター前で、キッチン和っこから子どもたちに野菜ケーキが振る舞われました。11月にはおやきの配布もありました。コロナ禍でしばらく活動を合わせていきましたが、感染症対策などを教育委員会と何度も協議をし、ようやく実現できた企画です。同時企画の手打ちうどん体験も開催され、9人の子どもたちが参加しました。一から自分で作ったうどんは家に持ち帰ることになっており、味わうことを楽しみに帰路につきました。

鉢盛中学校いじめの追放集会

12月2日(水)、鉢盛中学校でいじめ追放集会が行われました。平成26年に生徒会が制定した「鉢盛中学校いじめ追放宣言」を改めて読み返し、日ごろの友だちとのかかわりを見つめ直しました。



やまのこ保育園焼き芋会

11月26日(木)、やまのこ保育園で焼き芋会がありました。園の畑で収穫したさつま芋と地元の方から頂いたお芋を園児たちが新聞紙とアルミホイルで包み、焚き火でじっくりと焼きました。落ち葉や薪もみんなで拾い集め、長い枝は年長さんがノコギリで切って準備してきたそうです。力を合わせて焼いたお芋は、甘くてトロトロの食感。いつもお世話になっている近隣の方へお裾分けをし、心温まる焼き芋会となりました。



山すそ

「県外には絶対に出不い。今はとにかく我慢」「闇雲な自粛よりも経済を回せ」「色んな声が聞こえてくる。考え方の

違いで起こる争いごととはたくさんあるが、更に新型コロナウイルスの流行で新しい争いの種が増えてしまった。県内で感染者の職場に投石があった。「自粛警察」が県外ナンバーの車に中傷の張り紙をした。医療従事者が、そうでない友人から遊びの誘いを受けて無神経だと傷ついたという話も聞いた▼感染症は自分や周りの人の命に係わる重大なことだから、自分と考え方の違う人の行動についても手も出したくなる。しかし、考え方はその人の生きてきた環境によって違うし、立場によってもそれぞれなので、万人に共通の正解は無いはずだ。だから考えを人に押し付けるのは違うと思う。また私は「絶対にこうする」と決めてしまうのも、そこで思考停止になってしまうのではないかと恐れている。今の状況では、きちんとアンテナを張って色々な考えや情報を仕入れ、自分の頭で絶えず考えて判断していこうと思う。

図書館からのお知らせ

*年末年始の休館について
12月28日(月)～1月4日(月)
の間、休館になります。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

*「ちくちくクラブ」のお誘い
「消しゴムハンコで
マイブックカバーをつくろう」

冬のおうち時間を楽しみましょう。
今回は消しゴムハンコを彫ってスタン
プを押したブックカバーを作ります。
日 時：1月30日(土)9時30分～11時30分
場 所：トレーニングセンター
ふるさと大ホール
材料費：500円
申込み：山形村図書館 ☎98-3155

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK No.50

編集＝山形村図書館

少年の日を思い出しながら 世界初のラジコンカーを楽しむ

10月24日(土)、トレーニングセン
ターふるさと大ホールで、昭和30
年代のラジコンカーを走らせる体
験をしました。

『世界で初めて作られたラジコ
ンカーを動かそう』と題して、鉦
石ラジオの収集でおなじみの久保
田長利さんに講師をお願いしまし
た。

現代の私たちのまわりは、電波
で動くものでいっぱいです。

そもそも電波ってどういうもの
なの？久保
田さんに電
波の歴史や
しくみを説
明してもら
い、貴重な
鉦石ラジオ
や火花受信
機などを動



かしてみました。ラジコンカーを
世界に先駆けて作ったのは、日本
のおもちゃメーカー増田屋でした。
当時の子どもたちにはあこがれだ
ったシルバーのバスは、ゆつくり
のどかに走って、村内外から集ま
った9組14人を楽しませてくれま
した。

すがすがしい香りに包まれて

森林浴のようなリース作りでした

11月29日(日)、子ども、大人合
せて16人がクリスマスリース作り
を楽しみました。講師は中川みど
りさん(小坂)

です。常緑樹
のスギ・ヒバ
・モミなどの
枝をふんだん
に使っての、
みずみずしい
リースです。

初心者向けに、市販のつるを巻
いたものに、10センチくらいに切
った枝を少しづつ束にして針金で
ぎゅつと巻きつけていきます。出
来上がりをイ
メージしなが
ら、ツゲやヒ
イラギの枝を
あしらいます。
「枝の束をい
くつも作って
おくと楽です
よ」東の3分



の1あたりを針金で止めるとバラ
ンスがいいですよ」とアドバイス
する中川さん。
出来上がったグリーンのリース
に、松ぼっくりやドライフラワー、
赤唐辛子などを思い思いにつけて
完成です。イメージ通りのリース
の出来上がりに、笑顔がはじけま
した。

おすすめ新着本紹介

『しはつでんしゃ』

石橋真樹子(福音館書店)

さむい冬の、
日曜日の朝。
ぼくはお父さ
んと、北海道
へひっこす友
だちを見送りに行きます。早起き
をして始発電車に乗るわくわく感
が伝わります。



『そして誰もいなくなった』
アガサ・クリステイ(早川書房)

兵隊島のお
屋敷に10人の
男女が集めら
れました。童
謡の歌詞どお
りに命を落としていく死のゲーム
が始まります。ミステリー史上
最も有名な傑作が、子どもでも手
に取りやすい装丁で出版されまし
た。少年少女よ、この冬休みにク
リステイの謎解きに挑戦しませ
んか？



『体育が得意になる！』

パバとママのつとておき「コーチ術」

水口 高志/監修

(メイツユニバーサルコンテンツ)

子どもの運
動能力を高め
る教え方を紹
介します。
親子で楽しみ
ながらチャレンジしませんか？



『地域の寄り合い所また明日』

太田 美由紀(風鳴舎)

東京都小金
井市に、保育
所、認知症デ
イホーム、地
域の寄り合い
所という3つの機能を合わせ持つ
施設があります。毎日喜んで遊び
に行く女の子が「犬もいて、猫も
いて、赤ちゃんもいて、今にも死
にそうなおばあさんもいるんだよ
!」と紹介してくれた施設「また
明日」の魅力を取材します。



『シニア六法』

住田 裕子/監修・著
東京・KADOKAWA

オレオレ詐
欺や不当契
約の正しい対
処法。介護ト
ラブルを防ぐ
には？成年後見制度や相続の大切
な基本など、シニア世代に必要な
法律の大事なポイントをわかりや
すく紹介します。



12月号特集

2020年を振り返って



今年も残りわずかとなりましたが、新型コロナウイルスに振り回された一年でした。皆さんにとって2020年はどんな年だったのでしょうか？8名の方に振り返っていただきました。

今年を振り返って

山室ひとみ
(上大池)

今年はいくつの方が心にもやもやを抱えた年だったと思います。

私は二年前に職場を変え、環境の変化と人間関係に辛い時もありましたが、今年になりやっと順調になって自分の時間を楽しめると思つた矢先のコロナ禍でした。職場の対応も変わり感染対策の仕事も増え業務継続が厳しくなり、自宅待機になった時期もありました。昨年からは始めたフィットネスも通えなくなり、必要に迫られて通い始めたパソコン教室も休講になりました。行けなくなつて改めて、忙しくても通つていた教室が私にとって生活の活力になっていたと気づきました。現在は通つていますが心身共に健康でいるためには、適度な運動と好きなことを続け前向きな気持ちでいることが免疫力を上げ、病気に負けない体になっていくと思います。

コロナが一日も早く昔話になるといいなあと思つています。

「コロナ」な年

ひろみつ 小澤 広光
(中大池)

今年を振り返れば、新型コロナウイルスの脅威を肌で感じた年であつた。この数カ月で、ありふれた生活が大きく変化し、新しい生活様式に戸惑われた方も多いのではないだろうか？私もその中の一人だ。仕事では、在宅勤務・リモートワーク。私生活ではソールシャルディスタンス・マスク着用・3密回避など感染防止策に応じた生活様式に変化した。また、様々なイベントが中止となり子どもたちも肩を落とした。その中、小澤家では3密を避けるため、庭でのBBQを取り入れた。普段の食事でも屋外に出るだけで子どもたちには立派なイベントである。春の花を見て、夏の日差しを浴び、秋の風を感じることで失われた季節感を取り戻せた気がする。3密回避とは裏腹に、家族の絆は間違いなく密であつた。最後に今もなお世界中で猛威を振るつていて新型コロナウイルスの終息を一刻も早く願つていてる。

今年一年のまとめ

市川みずき
(上竹田)

今年、美須ヶ丘高校に入りましたが、新型コロナウイルスで例年とは様ざまなことが違つていて、戸惑いの一年でした。しかし、成長の一年でもありました。

高校で念願の演劇部に入りましたが、5月初旬からの長期休みで部活動どころか学校へも行けず、フラストレーションが溜まるばかり。学校が再開すると、部活動は変則的な日程で大会へ進みました。夏休みは毎日、平日も遅くまで部活で、休みで鈍った体には堪えましたがやりたいことが出来て胸が高鳴り、わくわくが止まりませんでした。憧れの先生の指導で演技もメイクと成長するのを実感し、部活動が楽しくて堪りません。学校の成績も学年上位に入ることができ、友人にも恵まれ高校生としていいスタートができたと思います。

今年の前半は学校に行けませんでした。その間の気持ちや努力が後半につながつたと思います。来年は更に成長したいと思つています。

時代の変化に対応した活動

鈴木 正雄
(小坂)

新型コロナウイルスの感染拡大は世界でも大きな問題であり、日本国内も感染者が増大しているため現在も活動の自粛など感染対策を講じていますが、感染者が更に増えており生活が大きく変わった年となりました。

そのため、感染リスク対応として、春のスポーツ大会や村民運動会などの行事が中止となりました。昨年も台風19号の影響により村民運動会が急ぎ中止となりましたが、選手の人選や当日の運営の検討など忙しい時期でも役員や小坂区民の皆様のご協力を頂いたことに感謝申し上げます。

体育部長就任後の小坂分館運営委員会の際に、常会より「競技内容の変更」が要望され、春のスポーツ大会は軽スポーツによる常会対抗競技となり、大勢の方が参加して頂きました。

今後も地域が活性化するよう活動が続くよう次期役員に引き継ぎをさせて頂きますが、今は新型コロナウイルスが終息することを願うばかりであります。

チャレンジ



儀木 清和 (下竹田)

皆さま、今年一年をどのようにお過ごしでしたでしょうか。私にとつては、とても勉強になった一年だったと思います。

今年、14年間勤めたコンビニエンスストアを辞め農業を始めました。右も左も分からない私に、ご指導、ご相談に話を聞いて頂いた方がた本当にありがとうございます。私は深夜を担当していました。その時、あまり人と関わらない生活をしていました。農業を始めると色々な方がたとお会いすることが出来ました。どんなことも一所懸命頑張れば、仲間と挑戦した結果が分かるんだと久しぶりに思い出しました。

あつという間の1年間



大塩 七海 (下大池)

今年コロナの影響で、あつという間に一年が過ぎてしまいました。中でも部活動は夏のコンクールが中止になったことで、目指すものがなくなり、さらに発表できる機会も限られ、一、二、三年生で発表することができたのは、わずかに二回でした。それでも、部全体で力を合わせて、三年生を無事に送り出すことができました。そんな思い通りにいかない一年でしたが、私は、放送委員会という形で生徒会活動に参加し、毎週の当番活動では、時間通り放送するため、普段から時間を意識した行動をとれるように努力してきました。そして、周りに言われなくても、自ら行動する力をつけることができました。

来年はいよいよ三年生となり、とても大事なまとめの時期なので、勉強、部活を両立し、最高学年としての自覚を持ち、一、二年生の見本となるように頑張りたいです。

20年は初尽くし!



三村 卓也 (下竹田)

梓川から山形村に引越して、丸一年が過ぎました。今年は初めてのことでだらけで慌ただしく過ぎた一年だったと思います。軽くドラマの様な出会いをした彼女との同棲(読まれる頃には入籍している?)、持ち家の購入、長年住んでいた地元からの引越越しなどなど。いつもの様に今年もあつという間に過ぎたなあというには濃密な月日だったと思います。心身共に、まったくの新天地への出発は不安もありましたが、ご近所の方にも恵まれ、落ち着いた生活が送れています。反省としては、コロナ過や仕事がバタついていたこともあり、地域活動など声掛けをして貰えど全く参加できず、顔と名前が未だに一致していない方が多いのが問題です。自分自身が人の名前を覚えることを苦手としていたので、ひよんなこととお名前を聞くことも多々あると思います。生温かい目で教えて貰えると助かります。

当たり前前の日常に感謝



稲田 真奈美 (小坂)

今年、新型コロナウイルスの影響により、学校が休校になったり、村や保育園、学校などの行事が中止や縮小を余儀なくされました。日々の生活でも、マスク着用やアルコール消毒、外出を控えたりとストレスのたまる生活が続いています。

この自粛生活で会いたい人に会えない、行きたいところへ行けない、やりたいことが思いっきりできないなど、今までできていたことや当たり前にしてきたことができなくなってしまう。コロナ禍前の日常が当たり前ではなく、いかに幸せなことだったのかと痛感しました。我慢することは増えましたが、楽しく過ごせるように創意工夫する日々を過ごし、今年はいつにもない思い出ができた年になったと思います。



今年、イベント中止により、地域・人とのかわりが少なくなつた一方、改めて地域・人の繋がりが大切なことだと再発見できた年ではないでしょうか。

館報も校正企画会議を開催することさえ難しい状況で合併号という形で発刊する事態となりました。

とても辛く心配なことは、今年「チュー」に終わつて、来年は「モー」心配ないさー!とみんな安心して笑える年になつて欲しいですね。

山形村データあれこれ	
人口	8,656人
男	4,275人
女	4,381人
世帯数	3,112世帯
出生数	62人(18人増)
死亡数	100人(10人増)
転入数	274人(24人減)
転出数	290人(18人減)
※カッコ内は昨年同月との比較	
(役場住民課調べ、11月末現在)	
村内における人身事故	8件
負傷者	8人
死亡者	0人
(松本警察署調べ、11月末現在)	
村内における消防出動	1件
火災	214件
救急	0件
救助	30件
その他	30件
(松本広域消防局調べ、11月末現在)	

改さん、食久しぶりの調理実習

11月19日(木)、いちいの里にて、山形村食生活改善推進協議会(食改さん)の調理実習が行われました。新型コロナウイルス流行から、調理は自粛してきましたが、感染防止を徹底して活動を再開しました。高野豆腐を混ぜ込んだハンバーグやカボチャのミルクスープなど手軽に美味しく作れるレシピを試作し、「みんなで作るとやる気があるので、新しい料理にも挑戦できて楽しかった」、多くの人に紹介したい」と再開できた喜びや今後の目標について話してくれました。



調理実習見学やお問い合わせ

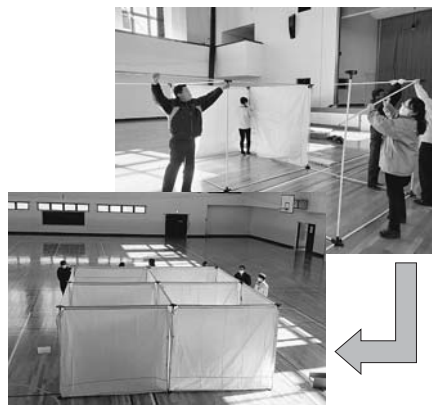
山形村食生活改善推進協議会事務局(いちいの里内)

☎ 97-2100

コロナ禍での災害に備える

今年度、村では長期の避難や体調不良者が避難することを想定し、新たにスチール製ベッドも災害用備品として新調して災害に備えているとのこと。

11月30日(月)、トレーニングセンター体育館にて、風水害・震災などの災害発生を想定した避難所開設訓練が行われました。コロナ禍での災害においても避難所が迅速に開設できるように事前受付テント・体調不良者テントなどの確認を行った後、体育館にて「避難所用間仕切り4部屋キット」の組立て・設置確認を行いました。



出初式に向けて 喇叭隊吹奏訓練

12月1日(火)、山形村消防団喇叭隊が、来年1月11日の出初式に向けての吹奏訓練を開始しました。この日は、団長以下各分団長が訓練の激励に訪れました。今年の訓練は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、隊員が整列する際は前後左右に間隔をとり、吹奏しない時間帯のマスク着用を徹底し、練習時間を短縮して実施されました。

12月中旬に出初式の中지가決まり、披露する場がなくなってしまうかもしれませんが、吹奏技術向上のため訓練は続きます。



天体観測会

11月28日(土)、ミラ・フード館の天体観測室にて、天体観測会が行われました。毎月第2・第4土曜日に定期的に行われているイベントで、常設された直径40センチの大型反射望遠鏡を使用し、夜空を楽しむことが出来ました。新型コロナウイルス対策で密にならないよう、天体観測室に入る人数を制限し、待ち時間にはシアタールームの画面でも観測した星などの紹介も行いました。この日は途中から雲が差しましたが、月や火星、おうし座などを観測することが出来、望遠鏡を覗いた来場者から歓声が聞かれました。



押絵の干支づくり

11月29日(日)、ミラ・フード館にて、押絵教室が行われました。京押絵は、絵柄の部位、色ごとに切断した布を綿でくみ、それらを貼り重ねて立体的な絵を作っていくもの。今回は来年の干支、「丑」の飾り絵を制作しました。集まった10名の参加者は、小さな部品を厚紙から切り出して作るなど、細かい作業に真剣に取り組んでいました。休憩を挟みながらも6時間近くかけて作り上げた作品は本場に美しく、完成した作品を手にした参加者は満面の笑みを見せてくれました。



おめでた(子・親)
百瀬ほの花・隆喜・上竹田 友美

(敬称略)

おくやみ

青沼 永悟・82歳・上竹田
唐沢 豊水・94歳・上竹田
二見 久江・89歳・上竹田
黒澤すみよ・85歳・上竹田

坂野さん地域おこし協力隊退任

11月19日(木)

山形村役場に

て、地域おこし協力隊の坂野岳人さんの送別式が行われました。協力隊第1号として、平成29年に山形村にやってきた坂野さん。3年間の任期を終え、この日退任となりました。

任期中は、数々のイベントを企画運営したり、村のホームページ制作にも携わり、村を盛り上げるために尽力されました。今後も山形村に住み、活動していくので、これからの活躍も期待しています。

3年間、ありがとうございました。



黒川伊保子さん講演会

コミュニケーション・ストレス

「男女のミゾ、話が通じない」の正体

11月28日(出)、ミラ・フード館にて、山形村男女共同参画推進委員会主催の、黒川伊保子さんの講演会が行われました。

『妻のトリセツ』の著者でおなじみの黒川さんのお話には、男女問わず、納得してうなづく場面や、笑いがおこり、新しい発見があったことと思います。



「相手への声かけを少し変えてみようかな」という声が聞かれました。この講演会は、YCSでも放送されます。当日来場出来なかった方たちも、ぜひご覧になり、今後の生活の中で何か取り入れることが出来れば、人間関係が少し楽しくなるかもしれませんよ♪



活生き塾活動記録

認知症を学ぶ11月24日(火)

桔梗ヶ原病院の庄司進一先生を招いて、認知症について学ぶ講演会を行いました。特に受講生の関心が高かった予防法について、運動が効果的と示唆され、庄司先生もウォーキングや水泳などの健康維持を実践されているそうです。「最後まで幸せに有意義な時間を過ごせるよう、日頃から家族で話し合っしてほしい」という庄司先生の言葉に前向きに生きる勇気をもらいました。受講生からも「認知症を理解することで、家族に優しくなれるし、どう生きていきたいか今から考えたい」と感想が聞かれました。



おやじ塾活動記録

蕎麦打ち体験12月9日(水)

収穫、脱穀した蕎麦の実を昔ながらの石臼でそば粉にする製粉体験をした後、いよいよ蕎麦打ち体験となりました。講師に「水舎」の林和男さん、「つつみ庵」の林武範さん（ともに下竹田）を迎え、実演を交えて教えてもらいました。

「特に「こね」は妥協してはいけないう工程で、後の「のし」にも影響してくる大事なポイント」とアドバイスを受けた参加者は熱心に会話も忘れるくらい集中して蕎麦打ちに取り組んでいました。

参加者が打った蕎麦は、持ち帰ってご家族と一緒に出来栄を堪能しました。



ありがとう伝承館

三系車④



ふるさと伝承館の活動を紹介します。「三系車」。第4号となる今回は、12月に開催された「お別れ見学会」について紹介します。

昭和28年に役場庁舎として建築されたふるさと伝承館は、老朽化のため本年度中に取壊しが予定されています。これまで展示・収蔵されていた資料は全て移動が完了し、館内はほぼ空っぽの状態まで作業が進みました。

そこで、建物の中を見て頂く最後の機会として12月10日(木)、11日(金)の2日間、「お別れ見学会」を開催しました。

平日予約制にも関わらず多くの皆さん(約30名)にご来館頂き、ふるさと伝承館への最後のお別れを賑やかに行うことができました。



2020. 12

高校サッカー
にかける

仲間たちに恵まれて

松本国際高校2年生

村瀬 ^{れん} ^や 蓮也さん (上竹田)



松本国際高校は12月31日に京都橘高校と対戦します。

11月に行われた全国高校サッカー選手権長野県大会の準決勝で見事決勝点を決めた蓮也さん。スピード溢れるドリブル突破が持ち味の注目の選手です。

4歳の時、兄の影響でサッカーを始め、山形少年サッカークラブ、中学のサッカー部で汗を流し、キャプテンも務めました。「得点を決めた時がやっぱり嬉しい瞬間です。中学時代からの先輩・友人・後輩たちに恵まれ、サッカーを通しての繋がりに感謝です」と話してくれました。

全国大会に向けては、「強敵と試合が出来るので勝つ気持ちで頑張り、その中でしっかり経験を積んでいきたい」と意気込みを語ってくれました。県代表のプレッシャーがあると思いますが、蓮也さんらしいプレーで、楽しんでサッカーをしてきてくださいね！

み あ
シュラーク 満愛さん
上大池
小2・ふたご座



はる
市川 悠さん
下竹田
小2・てんびん座

感性育み、
すくすく成長



サッカーに夢中

来月には、待望の弟が誕生するとので、「いっぱいお手伝いしたい」と素敵な笑顔で話してくれました。

安曇野市の『ひかりの学校』に在籍し、工作の時間は楽しくて大好きだそう。心豊かな体験をさせたいというご両親の想いに見守られ、のびのびと感性を育む満愛さんからは、自然や生き物を慈しむ優しさが溢れています。

保育園の頃から絵を描くことが好きで、動物に興味がある満愛さん。家では畑の手伝いやモルモットのお世話を進んで行っています。

悠さんのこれからの活躍を楽しみにしています。

サッカー選手に憧れて二カ月前に山形少年サッカークラブに入った悠さん。まだ日は浅いですが、練習している姿からもサッカーに夢中で、家でもご家族と一緒にボールに触れ、熱さは誰にも負けない。お父さんから見て悠さんは、今のチームが楽しく、中でもシュートが決まった時の喜びは最高だそう。